

東京
春祭

20th
Spring Festival in Tokyo

R. シュトラウス：
歌劇《エレクトラ》op.58

上演時間：約1時間45分

エレクトラ：エレナ・パンクラトヴァ
Elektra: Elena Pankratova

クリテムネストラ：藤村実穂子
Klytämnestra: Mihoko Fujimura

クリソテミス：アリソン・オークス
Chrysothemis: Allison Oakes

エギスト：シュテファン・リュウガマー
Aegisth: Stephan Rügamer

オレスト：ルネ・パーペ
Orest: René Pape

管弦楽：読売日本交響楽団
Orchestra: Yomiuri Nippon Symphony Orchestra

合唱：新国立劇場合唱団
Chorus: New National Theatre Chorus

合唱指揮：富平恭平
Chorus Master: Kyohei Tomihira

指揮：
セバステイアン・ヴァイグレ

Conductor: Sebastian Weigle

4.18 19:00
開演 [木]

4.21 15:00
開演 [日]

東京文化会館
大ホール

April 18 [Thu.] 19:00
April 21 [Sun.] 15:00
Tokyo Bunka Kaikan, Main Hall

S ¥25,500 A ¥21,500 B ¥17,500 C ¥14,000 D ¥10,500 E ¥7,500 U-25 ¥3,000

※U-25は2月15日[木]12:00発売[公式サイト限定取扱] ※ライブ・ストリーミング配信のネット席(有料)に関する情報は2月頒発表予定。

主催：東京・春・音楽祭実行委員会 共催：読売日本交響楽団

後援：ドイツ連邦共和国大使館／日本リヒャルト・シュトラウス協会

効果音制作協力：劇団民藝 助成：公益社団法人企業メセナ協議会 社会創造アーツファンド



エ
レ
ク
ト
ラ

演奏会形式

字幕付

待ち望まれた瞬間がくる——ヴァイグレ指揮 R.シュトラウス《エレクトラ》

2024年4月、名匠セバスティアン・ヴァイグレが読売日本交響楽団を率い、この強烈なオペラを圧倒的な演奏で届けます。

タイトルロールには、ヴァイグレが“今もっともエレクトラを歌うのにふさわしい”と評する世界屈指のドラマティック・ソプラノ、エレーナ・パンクラトヴァ。クリソthemis 役のアリソン・オークスはメトロポリタン歌劇場などで躍進中のソプラノ。そのほか藤村実穂子、シュテファン・リュエガマー、ルネ・パーペなどヴァイグレの信頼も厚く、世界の聴衆を虜にする実力派歌手陣が集います。“あの《エレクトラ》”がついに聴ける——このチャンスをどうか逃すことなきように！

セバスティアン・ヴァイグレ (指揮)
Sebastian Weigle (Conductor)



© 読売日本交響楽団

ベルリン生まれ。ベルリン国立歌劇場管の首席ホルン奏者から指揮者へ転身。2003年、独のオペラ雑誌「オペルン・ヴェルト」の年間最優秀指揮者に選出。04年から09年までリセウ大劇場音楽総監督。08年から23年までフランクフルト歌劇場音楽総監督。読売日本交響楽団には16年8月に初登場し、19年から第10代常任指揮者を務める。これまでに、バイロイト音楽祭、ザルツブルク音楽祭、ウィーン国立歌劇場、ベルリン国立歌劇場、英国ロイヤル・オペラ等に客演し、ベルリン放送響、ウィーン響、フランクフルト放送響等と共演。

読売日本交響楽団 (管弦楽)

Yomiuri Nippon Symphony Orchestra (Orchestra)

1962年、読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビのグループ3社を母体に設立。世界的な指揮者、ソリストと共演を重ねる。2019年4月からセバスティアン・ヴァイグレが第10代常任指揮者を務める。現在の指揮者陣は、首席客演指揮者の山田和樹(〜24年3月)、指揮者/クリエイティブ・パートナーの鈴木優人、桂冠指揮者のカンブルランら。24年4月からはヴァルチュハが新たに首席客演指揮者に就任する。17年メシアン《アッシジの聖フランチェスコ》(全曲日本初演)がサントリー音楽賞等を受賞。22年12月、文化庁芸術大賞受賞。

新国立劇場合唱団 (合唱)

New National Theatre Chorus (Chorus)

富平恭平 (合唱指揮)

Kyohei Tomihira (Chorus Master)

エレーナ・パンクラトヴァ / エレクトラ (ソプラノ)

Elena Pankratova / Elektra (Soprano)



© Vitaly Zapryagaev

ロシアのエカテリンブルク生まれ。指揮とピアノを学んだ後、サンクトペテルブルク音楽院を卒業。イタリアとスペインの国際声楽コンクールで優勝。イタリア人ソプラノのレナータ・スコットに師事。これまでに、メータ、ゲルギエフ、ペトレンコ、ティエレマン、ピシュコフらと共演し、ミラノ・スカラ座、マリンスキー劇場、ウィーン国立歌劇場、ドレスデン国立歌劇場、ポロニヤ歌劇場、オランダ国立歌劇場、ベルリン国立歌劇場、バイロイト音楽祭等に登場。2019年、東京・春・音楽祭でシェンベルク《グレの歌》トールヴェを歌った。

藤村実穂子 / クリテムネストラ (メゾ・ソプラノ)

Mihoko Fujimura / Klytämnestra (Mezzo-soprano)



© R&G Photography

東京藝術大学大学院修了後、ミュンヘン音楽大学大学院に留学。ワーグナー・コンクール(バイロイト)、マリヤ・カナルス・コンクール他で優勝・入賞。主役級の役でバイロイト音楽祭にデビュー(日本人初)。フリッカ、クンドリ、ブランゲーネ、ワルトラウテ、エルダの各役で9年連続出演。ティエレマン、アバド、メータ、ハイティンクラと共演し、ミラノ・スカラ座、ウィーン国立歌劇場、英国ロイヤル・オペラ、ミュンヘン国立歌劇場、新国立劇場等に出演。出光音楽賞、芸術選奨新人賞、エクソンモービル音楽賞、サントリー音楽賞、紫綬褒章を受賞。

アリソン・オークス / クリソthemis (ソプラノ)

Allison Oakes / Chrysothemis (Soprano)



© Fiona MacPherson

英国生まれ。ドイツで声楽を学び、第一級学位と修士課程を優秀な成績で修了。2005年ハンブルクのロベルト・シュトルツ声楽コンクールで第1位・聴衆賞を、10年デンマークのラウリッ・メルヒオール国際声楽コンクールで第1位・聴衆賞・オーケストラ賞を受賞。これまでに《サロメ》題名役、《エレクトラ》クリソthemis、《烙印を押された人々》カルロッタ、《死の都》マリエッタ、《トリスタンとイゾルデ》イゾルデ等を歌い、メトロポリタン歌劇場、ドレスデン国立歌劇場、ベルリン・ドイツ・オペラ、ハンブルク歌劇場、バイロイト音楽祭等に出演。

シュテファン・リュエガマー / エギスト (テノール)

Stephan Rügamer / Aegisth (Tenor)



© Simon Pauly

独ヴァルトザッセン生まれ。ヴェルツブルクとリュエベックで学んだ後、リリック・テノールとしてリュエベック歌劇場でキャリアを開始。1999年バレンボイム指揮《ニュルンベルクのマイスタージンガー》ダフィットでベルリン国立歌劇場にデビュー。以降、フランクフルト、ドレスデン、ハンブルク、ミュンヘン、シュトゥットガルト等、ドイツの歌劇場に登場。ミラノ・スカラ座、シヤトレ座、テアトロ・レアル、ルツェルン音楽祭、ザルツブルク音楽祭等でも活躍。ベルリン国立歌劇場管、バイエルン放送響、シカゴ響、チェコ・フィル他と共演。

ルネ・パーペ / オレスト (バス)

René Pape / Orest (Bass)



© jiyang Chen

ドレスデン生まれ。1988年、在学中にベルリン国立歌劇場にデビュー以来、同歌劇場の専属歌手として活躍。バレンボイムの指揮のもと《フィデリオ》ロッコ、《トリスタンとイゾルデ》マルケ王、《ローエングリン》ハイリヒ国王、《ニュルンベルクのマイスタージンガー》ボークナー等を歌う。ウィーン国立歌劇場、英国ロイヤル・オペラ、ミラノ・スカラ座、シカゴ・リリック・オペラ、サンフランシスコ・オペラ、メトロポリタン歌劇場、バイロイト音楽祭、グランドボーン音楽祭、ルツェルン音楽祭、ザルツブルク音楽祭等、欧米の檜舞台に登場。

中島郁子
第1の侍女(メゾ・ソプラノ)
Ikuko Nakajima
First maid (Mezzo-soprano)

小泉詠子
第2の侍女(メゾ・ソプラノ)
Eiko Koizumi
Second maid (Mezzo-soprano)

清水華澄
第3の侍女(メゾ・ソプラノ)
Kasumi Shimizu
Third maid (Mezzo-soprano)

竹多倫子
第4の侍女 / 裾持ちの侍女(ソプラノ)
Michiko Takeda
Fourth maid, Klytämnestra's trainbearer (Soprano)

木下美穂子
第5の侍女、側仕えの侍女(ソプラノ)
Mihoko Kinoshita
Fifth maid, Klytämnestra's confidante (Soprano)

北原瑠美
侍女の頭(ソプラノ)
Rumi Kitahara
Overseer (Soprano)

加藤宏隆
オレストの養育者、年老いた従者(バス・バリトン)
Hirotaka Kato
Orest's Guardian, Old Servant (Bass-baritone)

糸賀修平
若い従者(テノール)
Shuhei Itoga
Young Servant (Tenor)

こちらもおススメ!

20th Anniversary Special Talk

ヴァイグレ × 鈴木幸一 (東京・春・音楽祭実行委員長)



音楽祭公式サイトにてぜひお読みください。

エレーナ・パンクラトヴァが出演 4月7日 [日]
The 20th Anniversary
『ニーベルングの指環』ガラ・コンサート
(神々の黄昏) 約 ブリエンヒルデの自己犠牲 / 他

ルネ・パーペ 歌曲リサイタル 4月10日 [水]
ドヴォルザーク《聖書の歌》
ムンゾフ・スキヤ《死の歌と踊り》 / 他
ピア: カミッロ・ラディキ

チケット好評発売中 詳細は音楽祭公式サイトへ!

春東祭京 2024 3/15 Fri — 4/21 Sun
東京・春・音楽祭
SPRING FESTIVAL IN TOKYO
春が訪れ桜がひらいて
音楽が始まる 上野の森に

東京の春の訪れを、音楽を介したお祭りで祝う——

明治以来、日本における文化・芸術の集積地として発展を続けてきた上野の杜を舞台に、桜の季節に開催する音楽祭です。20回目の春を迎える2024年も、国内外から一流アーティストが集い、演奏会形式のオペラや室内楽、歌曲リサイタルをはじめ、美術館・博物館でのミュージアム・コンサートなど充実したラインナップでお届けいたします。その他、お子様に楽しんでいただけるプログラムや、上野界限やオフィス街、街角での小さな無料のコンサート「桜の街の音楽会」も予定。心躍る春を様々な音色で彩ります。

チケットのお申込み
東京・春・音楽祭オンライン・チケットサービス
www.tokyo-harusai.com
座席選択可 ご利用には登録(無料)が必要です。

バラエティに富んだサービスをご用意しております。

※サービスの対象となる公演や座席・枚数は限定されております。



お買い物カゴ (おまとめ予約)



トリオ・チケット



U-25チケット



電子チケット (チケットれずQ)



公式プログラム付 チケット



各サービスの詳細やチケットの申込みはこちらから

東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650 (オペレーター)
チケットぴあ <https://w.pia.jp/t/harusai/>
読響チケットWEB <https://yomikyo.pia.jp/>
読響チケットセンター 0570-00-4390 (オペレーター)

お問合せ 東京・春・音楽祭サポートデスク 050-3496-0202
営業時間:月曜、水曜、金曜、チケット発売日 10:00~15:00
音楽祭開催期間中は土・日・祝日も含め全日営業(10:00~19:00)

※公演に関するお問合せにお答えいたします。※オンライン・チケットサービスのご利用について、ご案内いたします。※サポートデスクではチケットのご予約は承りません。※車椅子席をご利用の方、企業・学校団体での鑑賞をご希望の方は03-5205-6443(東京・春・音楽祭実行委員会事務局)までお問合せください。

●未就学児のご入場はご遠慮いただいております。●掲載の内容は2023年12月18日現在の情報です。●記載しているチケット料金はすべて消費税込みの金額です。●公演中止の場合を除き、出演者・曲目変更による払戻しは致しませんので、あらかじめご了承ください。●チケット代金のお支払い後、お客様のご事情による変更・キャンセルは承りません。●営利目的のチケットの転売はいかなる場合でも固くお断りします。正規の方法以外でご購入いただいたチケットのトラブルに関して、当実行委員会はいかなる責任も負いません。